

## 文字通りの発音



文字通りの発音は、2, 3 の説明で解決するには広すぎる問題です。ポーランド語では、表記には現れない、いくつかの音声現象が起こります。従って、書かれた形のみで単語を覚えるのでは不十分で、よく聞いて発音することが必要なのです<sup>22</sup>。

文字通りの発音は、常に無理があり不自然なものなので、発言の流れを乱します（例えば前置詞句 *w Krakowie* の *w* を、文字通りに有声音で発音するためには、*w* の後にポーズをおかなくてはなりません）。また、学習の初期に身に付いてしまった癖は、後になると修正するのが難しくなります。

文字通りの発音で、最も頻繁に見られる問題は以下の通りです。

一語末の音を強く発音しすぎること。これによってその子音、もしくはいくつかの子音が集まった子音群を有声化してしまうことがあります。例えば *chleb, mąż, znów, Łódź, przykład, krąg, mógł, wyszedł, przywiózł, buddyzm, komunizm, zmierzch* など。時折、語末の子音に余分な母音を加えられてしまうようです。例えば *dosici (dość), przyjsici (przyjść), zaniesici (zanieść), litosici (litość), ugryzici (ugryźć)* など。

一鼻母音を強く発音しすぎること。

a) 語末が鼻母音の時に、日本語の干渉で、鼻音化された *e*、つまり *ŋ* の音が現れる。

例えば *siej, myślę, dziękuję, japońskiej, trenuję, trochę, proszę* など。

b) 語中、閉鎖音と破擦音の前に鼻母音が現れた時。例えば *zęby, chętnie, ręka, krąg* など。



最も効果的な解決法は、少なくとも学習の初期に耳で覚えることでしょう。ポーランド語の録音を聞いたり、教師にチェックしてもらいながら音読をしたりすることも、文字通りの発音を減らすのに役立ちます<sup>23</sup>。以下に、これらの音声現象が、ポーランド語の口語においてとても重要であることを意識してもらうために、音の相互関係についていくつかの例を挙げていきます<sup>24</sup>。

<sup>22</sup> J. Tambor (2001)がこの問題に注目している。

<sup>23</sup> M. Krzywańska と T. Malinowski による *Multimedialny fonetyczny słownik języka polskiego* が役に立つだろう。M. Krzywańska i T. Malinowski (2005)を参照のこと。

<sup>24</sup> 本書は正しい発音の手助けとなることのみを目的としているので、全体的かつ詳細な説明はその枠を超えてしまうだろう。



1. 単語の最後が子音で終わっている場合、ポーランド語では無声化現象が起こります。例えば *nóż* [nósz], *chleb* [chlep], *sąsiad* [sąsiat], *śnieg* [śniek], *samochód* [samochót], *błąd* [błont], *chodź!* [choć], *rób!* [róp], *zostaw!* [zostaf], *siedź!* [sieć], *mów!* [móf], *przyjdź!* [przyjć], *Łódź* [Łóć], *pociąg* [pocionk], *sposób* [sposóp], *lekarz* [lekasz], *kalendarz* [kalendasz], *Kraków* [Krakóf], *przed* [pszet], *wyjazd* [wyjast], *znow* [znóf] など。
2. 単語の最後に子音群が来たときには、長く発音しすぎないようにしましょう。例えば *dość*, *gość*, *ugryźć* [ugryść], *deszcz*, *płaszcz*, *zmierzch* [zmieszch] など。
3. しばしば無声音が有声音に影響を及ぼし、無声化現象が起こります。例えば *książka* [ksiąszka], *przykład* [pszykłat], *łatwy* [łatfy], *zawsze* [zafsze], *krzesło* [kszesło], *słodki* [słotki], *szybko* [szypko], *łóżko* [łószko], *chwalić* [chfalić], *przez* [pszes], *wpisać* [fpisać], *wspomnienie* [fspomnienie], *wtedy* [ftedy], *wtorek* [ftorek], *czwartek* [czfartek], *kwiecień* [kfiecień], *sweter* [sfeter], *jabłko* [japko], *twój* [tfój], *odpisać* [otpisać], *wsiadać* [fsiadać] など。
4. 有声化現象が起こることもありますが、珍しい現象なので、基本的な語彙の中では次の例を挙げるだけにとどめておきます: *prośba* [proźba], *także* [tagże], *liczba* [lidźba], *jakby* [jagby]
5. *a* と *ę* にはとりわけ注意しましょう（これらの音については既に述べました<sup>25</sup>）。
6. 教師の発音を良く聞いて、真似するようにしましょう。

---

<sup>25</sup> 第一章、母音 *ę*, *a* の項を参照のこと。